

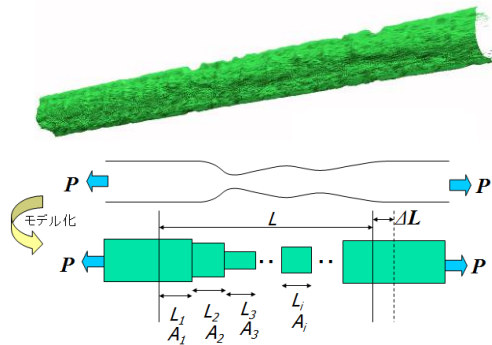
研究タイトル： **インフラを長く使い、徹底活用する**



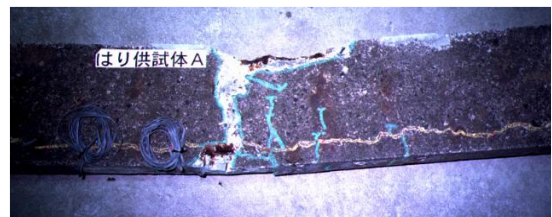
氏名：	大屋戸 理明 / OYADO Michiaki	E-mail：	ooyado@kushiro-ct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	日本建築学会、日本コンクリート工学会、土木学会、日本鉄道施設協会		
キーワード：	構造工学、維持管理工学、リスクマネジメント、ライフサイクルアセスメント		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの維持管理に関する技術相談 ・建築・土木分野を横断する構造工学の観点での技術相談 ・構造・交通計画分野を横断する技術・施策相談 ・リスクマネジメントに関する技術・施策相談 		

研究内容：

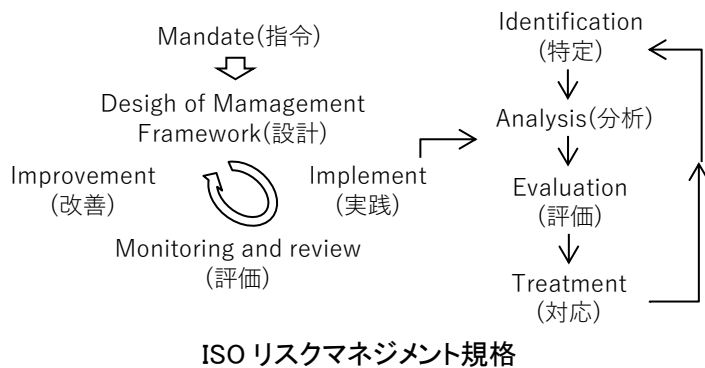
国内で今後予想される少子高齢化に対応して、既存の社会資本ストックの長寿命化と有効活用が必要です。このため、劣化した構造部材の力学性能の評価法について研究を行っています。これまでのところ、曲げやせん断など、典型的な外力に対する抵抗が推測できるようになりましたが、ときには「想定外」と称されるような現象も考慮し、様々な力の種類や方向が、劣化・損傷部位とどのように関係しあうか、力学的な見地から解明に取り組んで参ります。また、評価に必要な検査手法の開発や、評価結果をうけてインフラを活用する際に必要なリスクマネジメントについても研究対象としています。インフラを長く使い、地域・社会のために徹底的に活用できるよう、技術と情報を総動員して取り組みます。



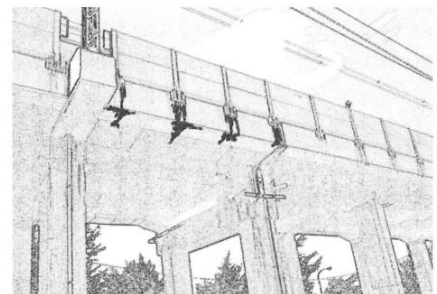
腐食鉄筋の形状計測結果とモデル化



劣化した鉄筋コンクリート試験体の荷重試験
(健全な場合と異なり破壊領域が局所化)



ISO リスクマネジメント規格



劣化機構を特定しない維持管理
枠組み(水掛かり現象に着目)

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)